

【記載例】

農地法第5条の規定による許可申請書

令和〇年〇月〇日

可児市長様

申請者

譲受人

可児川 太郎

譲渡人

奥村 三郎

下記によって転用のため農地の権利を移転したいので農地法第5条の規定によって許可を申請します。

1. 当事者の氏名及び住所

当事者の別	氏名	住所
譲受人	可児川 太郎	可児市広見〇〇番地
譲渡人	奥村 三郎	愛知県犬山市大字××字△△〇〇番地

2. 許可を受けようとする土地の所在・地番・地目・面積及び耕作者の氏名

土地の所在	地番	地目		面積 (㎡)	耕作者の氏名	市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別
		登記簿	現況			
広見字塚本	〇〇	畑	畑	200	可児川太郎	その他の区域
計		200 ㎡（田 ㎡、畑 ㎡）				

3. 転用計画

(1) 転用の目的	(2) 権利を設定し、又は移転しようとする理由の詳細
用途 一般個人住宅	譲渡人は高齢で、耕作が困難になった。また、譲受人は新たに住宅敷地を購入し、個人住宅を建築するため今回の申請に至った。

(3) 事業の操業期間又は施設の利用期間 許可日 年—月—日から 永年 年間

(4) 転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要

工事計画	第1期(着工 許可日 から 第2期				合 計			
	6ヶ月 まで							
	名 称	棟数	建築面積 ㎡	所要面積 ㎡		棟数	建築面積 ㎡	所要面積 ㎡
土地造成				200				200
建築物	2階建家屋	1	60	200		1	60	200
小計		1	60	200		1	60	200
工作物								
小計								
計		1	60	200		1	60	200

4. 権利を設定・移転しようとする契約の内容

権利の種類	権利の設定・移転の別	設定・移転の時期	権利の存続期間	その他
所有権	移転	許可あり次第	永年	売買

5. 申請者がその農地の転用に伴い支払うべき給付の種類・内容及び相手方

相手方の氏名	相手方の経営地総面積 (耕作地を含む)			左の内離作する面積			毛上補償		代地補償		その他
	田 (㎡)	畑 (㎡)	採草放牧地 (㎡)	田 (㎡)	畑 (㎡)	採草放牧地 (㎡)	10a当たり (円)	総額 (円)	10a当たり (円)	総額 (円)	
該当なし											

6. 資金調達についての計画 ※建築費は延べ床面積で積算すること。

土地購入費	〇〇円×200㎡＝〇〇〇円	自己資金	〇〇〇円
造成費	〇〇円×200㎡＝〇〇〇円	借入資金	〇〇〇円
建築費	〇〇円×100㎡＝〇〇〇円	合計	〇〇〇円
合計	〇〇〇円		

7. 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要

・申請地の隣接地に農地がありますが、被害が生じないように擁壁を設置し対処します。

・令和〇年〇月〇日 隣地所有者に事業計画を説明し、営農に支障がないことを確認しました。

・〇〇土地改良区(管理組合)の指示に従います。

・万一、転用に伴い被害が生じた場合は、申請者の責任において対処します。

8. その他参考となるべき事項

一体利用地 〇〇番〇 宅地 〇〇㎡のうち〇〇㎡

隣地境界は確定済です。

※他法令に伴う許認可があれば、手続き状況を記入